

I 急病のときの対応

8. 腹痛があるとき

家庭での処置

1. 腹痛がやわらぐような楽な姿勢をとらせて安静にする。
2. 楽なら腹部を温める。
3. 絶食とする(水分のみ少しずつ与える)。

その後の対応



レベル1 家庭で経過をみる、又は翌日に病院受診

腹痛がやわらいでくる。水分も取れる。



レベル2 その時点で病院受診

激しい腹痛が続く。嘔吐、下痢が頻回で水分がとれない。高熱を伴う。血便がある。
【乳児の場合】
股(足の付け根)が大きく腫れる。おちんちんのふくろがはれて、色が悪い。
周期的に機嫌が悪く激しく泣き、泣き止んでもぐったりしている。



レベル3 緊急に病院受診、救急車要請

腹痛のためほとんど体を動かさない。じっとしていると腹痛がややおさまるも、ちょっとした体動で激しい腹痛が起こる。

家庭で看る時のポイント

便秘による腹痛も少なくなく、かなり強くなることもあるので、下痢がなければ一度、トイレに行かせて排便させましょう。
乳児で機嫌の悪いときはお腹をさすってあげると機嫌が直るときがあります。
腹痛が改善しても無理をして食べない様にします。空腹感の強いときは食べさせてもかまいませんが、消化の良さそうな物を様子を見ながらにしましょう。
冷たい物は飲まないようにして、室温以上の物を少しずつ飲むようにします。